

## 平成27年度 事業報告

我が国の景気は、このところ弱さもみられ、足踏み状態が続いています。先行きについては、雇用・所得環境の改善はみられますが、各種政策の効果が発揮され、緩やかな回復に向かうことが期待されております。ただし、海外経済で弱さがみられており、中国を始めとするアジア新興国や資源国等の景気が下振れし、我が国の景気が下押しされるリスクがあります。こうしたなかで、海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動の影響に留意する必要があります。

このような状況下、当協会は平成26年4月1日より川崎市港湾振興会館の指定管理者として新たな5年間をスタートしました。また、公益社団法人としては4年目となり、更に川崎港の利用促進や市民と港を結ぶ事業を中心に、市民及び港湾関係者の利便性の向上と福利厚生の実現を図り、川崎港の振興・発展に資する事業を積極的に推進いたしました。

### 【公益目的事業－1】

#### ——川崎港の国際競争力を強化し利用を促進する事業——

#### 1. 港湾の国際競争力の強化のための港湾施設の整備促進及び運営の改善

##### 「利用しやすい川崎港づくり推進協議会」の運営に関する事業

関係官民19団体で組織する「利用しやすい川崎港づくり推進協議会」の事務局を川崎市港湾局と協力して担い、各参加団体より提出された課題60項目（港湾施設19項目、交通13項目、環境9項目、川崎港コンテナターミナル関連4項目、規制・制度関連・料金等8項目、船舶関係他7項目）を整理し、協議会において検討した。

今年度は上記課題の具体的な検討の場としての改善部会を2回、協議会を1回開催した。

##### (1) 第1回「改善部会」の開催

日 程 9月2日

議 題 60項目の課題の進捗状況について

ア 成果があった課題として4件が報告された。

- ① バースの整備 ストームビット認識用ポールの設置
- ② 東扇島島内の美化対策 ポイ捨て防止用ゴミ箱の設置
- ③ 東扇島島内の美化対策 国道357号線沿いの清掃活動の実施
- ④ 災害対策 防止対策資料の作成  
防災行政無線の屋外受信機の設置

イ 今年度中に手が付けられる課題として4件、改善に向け検討中の課題1件が報告された。

(2) 第2回「改善部会」の開催

日 程 3月1日

議 題 60項目の課題の進捗状況について

ア 成果があった課題として4件が報告された。

- ① バースの整備 千鳥町2号バースの改修工事
- ② 荷捌き地の整備 立体モータープールの建設
- ③ 路上違法駐車を取り締まり等強化
- ④ 東扇島島内の美化対策 ポイ捨て禁止の啓発看板の設置

イ 改善に向け動きのあった課題3件、引き続き検討中の課題2件が報告された。

ウ その他として、60項目の課題内容の変更等について提案があった。

(3) 「推進協議会」の開催

日 程 3月24日

議 題 60項目の課題の進捗状況について

ア 成果のあった課題として7件、改善に向け動きのあった課題として2件、引き続き検討中の課題2件などが報告された。

イ 60項目の課題で提案内容の変更等が必要の事例について起案者と協議のうえ整理することとした。

## 2. 貨物の集荷及び船舶の誘致活動

(1) 「川崎港戦略港湾推進協議会」ポートセールス部会の活動

「川崎港戦略港湾推進協議会」(平成23年9月設立)は、川崎市、川崎商工会議所、川崎港運協会、関東船主会及び川崎港振興協会の5団体で構成され、コンテナ利用の一層の拡大を図るための課題や方策を検討し、集荷とサービスレベルの向上を目指して、活動を行っている。推進協議会の会長を当協会の齋藤文夫会長が務め、推進協議会の実行部隊である2部会(ポートセールス部会・施設計画部会)のうち、ポートセールス部会の事務局を当協会が担い、施設計画部会には委員として参加した。

なお、今年度のコンテナターミナル取扱数量は、目標数値80,000TEUを大きく上回る99,640TEUを達成した。

ア ポートセールス部会の開催

(ア) 第1回ポートセールス部会の開催

日 程 6月25日

- 議 題 ①平成26年度収支決算書及び監査報告について  
②平成27年度ポートセールス活動について

(イ) 第2回ポートセールス部会の開催

日 程 10月9日

- 議 題 ①“SITC KAWASAKI”命名に伴う対応について

- ②中国船社“E A S”社の川崎寄港について
- ③ポートセールス活動の現状について
- ④ターミナル、ゲートの混雑状況について

(ウ) 第3回ポートセールス部会の開催

日 程 3月16日

- 議 題
- ①下半期の事業活動について
  - ②川崎港を取り巻くマーケット状況について
  - ③平成28年度事業計画及び収支予算案について
  - ④リーファー貨物の取り扱い拡大にむけて

イ 国内ポートセールスに関する活動

(ア) S I T Cとの連携強化

香港ホールディング会社CEOの川崎市長訪問、協議会トップによるS I T Cジャパンとの意見交換会開催などを通して関係強化を図った。

(イ) 企業訪問等

中国・ホーチミンからのリーファー貨物の輸入業者、日用品、雑貨、家電などの大手販売業者、古紙・化学品関連・中古自動車・危険品などの輸出業者などをターゲットに川崎港への貨物誘致活動を展開した。

(ウ) 各種業界会合等への参加

川崎危険物懇話会への参加(6月10日、11月11日)

参加企業：川崎市近郊の危険品・化学品取扱物流事業者14社

(エ) 国内連携港との意見交換等

四日市、苫小牧、函館、八戸各港との連携強化

ウ 海外ポートセールスに関する活動

(ア) 官民一体となったトップセールスによる集荷活動、新規航路の誘致

① S I T C上海本社訪問

日 程：7月19日～21日

目 的：協議会トップの訪問による連携強化

② 東南アジアポートセールス

日 程：11月14日～18日

訪問先：ベトナム（ハノイ、ハイフォン）、シンガポール

目 的：ニトリハノイ工場訪問、関係船社訪問、港湾施設視察

(イ) 「上海国際技術輸出入交易会」への出展及びポートセールス

日 程：4月23日～27日

目 的：輸出入事業者への川崎港紹介、企業訪問

(ウ) 「中国国際消費電子博覧会」(青島市)への出展及びポートセールス

日 程：7月9日～14日

目 的：山東省近郊の輸出入事業者、物流事業者への川崎港のPR

(エ) 東南アジア出張

日 程：9月20日～29日

訪問先：ベトナム（ハノイ、ハイフォン）、シンガポール、タイ  
目的：ニトリハノイ工場訪問、各国港湾施設視察、関係先訪問  
(オ) 中国（煙台）におけるポートセールス

日程：11月9日～11日

訪問先：SITC煙台、リーファー貨物輸出業者、日系物流事業者

目的：煙台航路再開に向けての関係先との協議

#### (2) 川崎港振興協会独自のポートセールスに関する事業

荷主及び船会社、フォワーダー等物流企業を訪問し、川崎港の更なる発展に向けて情報収集を行う。また、クルーズ客船受け入れのための方策についての調査等に向けて事前準備を行った。

### 3. 京浜3港広域連携に関する事業

「京浜港の集い」については、京浜3港で準備を進める中で、新たな工夫も必要とのことで具体的な検討を進めたが、開催時期の制約等からやむなく開催を断念した。

一方、各港が開催する各種の意見交換会等に参加し、三港連携の取組の一環として作成された「京浜三港港湾計画図」や「京浜港マップ」を活用し、京浜港としてプレゼンテーションを行った。

### 4. 初入港船歓迎行事

川崎港に初入港する船舶の乗組員に記念品等を贈呈し、歓迎の意を表することにより、川崎港をPRした。

平成27年度は13隻が初入港した。(前年度 24隻)

4月	1隻	8月	0隻	12月	1隻
5月	1隻	9月	0隻	1月	0隻
6月	0隻	10月	1隻	2月	4隻
7月	1隻	11月	2隻	3月	2隻

### 5. 国際交流事業

#### ダナン港との交流

川崎市と友好港であるベトナム・ダナン市との間では定期交流を行い、友好関係の強化を図ってきた。平成27年度は、定期交流は行われなかったが、平成27年3月にダナン港代表が川崎市港湾局を訪問され、港湾局長との会談後、意見交換会を開催し、ダナンー川崎間の定期航路開設に向けて協力していくことを確認した。

### 6. 「川崎港便覧」の製作・販売

川崎港港域内の港湾施設、企業名等を記した地図に、行政機関、施設使用料、

統計資料等を掲載した川崎港便覧を作成し、ポートセールスに使用するほか会員、川崎港利用者等に頒布した。

川崎港便覧2015年度版

発行日 8月1日

発行部数 日本語版 3,900部  
英語版 350部

## 7. その他の振興事業

川崎港の振興及び当協会の事業を広報するため、日刊紙、業界紙及び地域情報誌等に情報を提供した。

[主な提供先]

- ・7月20日・21日発行 日本海事新聞「2015海の日記念特集号」
- ・7月31日発行 タウンニュース川崎区版「暑中見舞い広告」
- ・1月1日発行 タウンニュース川崎区版「元旦号」
- ・1月5日発行 日本海事新聞「新年特集号」

### 【公益目的事業－2】

——港湾施設を核に、市民に開かれた港づくりの推進を図ることと併せて港湾の利用促進を図る事業——

#### 1. 市民と港を結ぶ事業

市民が川崎港と海に親しむとともに、川崎港の役割及び海事思想について理解を深めるため、川崎マリエンを中心に次の事業を実施した。

また、各事業を実施するに当たり、効果の測定・評価及び今後の事業の参考とするためのアンケート調査を行った。

##### (1) 第42回川崎みなと祭りの開催

川崎港の使命と現状について市民及び港湾関係者の理解を深め、川崎港に対する親近感を高める機会を提供するため、「みんなの川崎港」をテーマに関係機関・団体と連携、協力して「第42回川崎みなと祭り」を開催した。(前年度来場者 220,000人)

- ・開催日 10月10日・11日
- ・来場者 226,000人

##### (2) 映画上映会の開催

学校の夏休み、冬休み、春休みの期間を利用し、マリエンシアターで小学生以下の子どもとその保護者を対象に、DVD等映像ソフト利用による映画上映会を3回開催した。(前年度 3回 245人)

- ・上映日 7月21日 上映作品「ウォーキング with ダイナソー」

来場者 52人

・上映日 12月25日 上映作品「イースターラビットのキャンディ工場」  
来場者 24人

・上映日 3月28日 上映作品「ミニオンズ」  
来場者 5人

### (3) 初日の出観賞会の開催

東京湾に面した眺望の良さを生かして年中行事として市民に定着した初日の出観賞会を川崎マリエン展望室において開催した。また、大みそかの夜から元旦の夜明けまで川崎マリエンタワー棟壁面へのライトアップを実施した。

・実施日 1月1日  
・来場者 先着300人

### (4) 夏休み工作教室の開催

川崎マリエンにおいて、小学生とその保護者を対象に、「ボトルシップ工作」「ステンド画」の2教室を開催した。(前年度 92人)

・実施日 8月22日・23日  
・参加者 22日 55人(ボトルシップ38人、ステンド画17人)  
23日 66人(ボトルシップ33人、ステンド画33人)

### (5) 夏休み海洋環境教室の開催

川崎マリエンにおいて、小学生とその保護者を対象に専門家の指導による水産動植物の観察や生態の調査を行う体験学習活動を実施し、海洋環境保護の大切さを学んだ。(前年度 43人)

・実施日 7月27日  
・参加者 55人

### (6) ボトルシップ工作教室指導者養成コースの開催

子ども向けボトルシップ工作教室のボランティア指導者の養成を図るため、公募により、ボトルシップ工作に興味があり、将来子ども等への指導者を目指す12人を対象に、1年間の全12回コースで毎月第3土曜日に養成コースを開催した。また、コース終了後、川崎マリエンで作品展を開催した。

### (7) クリスマスイルミネーション装飾及びライトアップの実施

クリスマスに川崎マリエン植栽へのイルミネーション装飾及び川崎マリエンタワー棟壁面へのライトアップを実施し、季節の感じられる川崎マリエンを演出し、川崎マリエンの魅力の向上を図った。

・イルミネーション 12月14日～25日  
・ライトアップ 12月31日～1月1日

### (8) 第5回川崎マリエン写真・児童絵画コンクールの開催

川崎港を身近に感じてもらい、川崎港に接する機会の創出のために京浜臨海部を題材とした作品のコンクールを開催した。

展示会は、川崎マリエンと川崎アゼリアで実施した。

・応募資格 児童絵画の部は小学生以下、写真の部は制限なし

- ・応募期間 12月1日～1月31日
- ・応募点数 写真65点、絵画179点
- ・選考会 2月23日
- ・表彰式 3月19日

### (9) 展示用フリースペースの利用促進

川崎マリエン交流棟1階ロビーを展示会用フリースペースとして市民等の利用に供し、希望者に無料で貸し出した。

- ・絆甲子園パネル展  
6月10日～30日
- ・ミニチュアカー（常設コーナー展示）  
4月1日～3月31日
- ・クラシックカー展示  
10月20日～11月27日
- ・海上保安署パネル展  
11月27日～12月3日
- ・川崎ビーチスポーツクラブパネル展  
2月19日～2月29日
- ・忘れない!! 3.11パネル展  
3月7日～13日
- ・第4回川崎マリエン写真・児童絵画コンクール入賞作品展  
3月17日～30日
- ・ボトルシップ工作教室指導者養成コース成果発表作品展示会  
3月21日～4月1日

### (10) 展示の充実

川崎マリエン交流棟2階マリエンプラザ内友好港ダナン港コーナーのリニューアルを行うとともに、交流のある中国連雲港及び青島港コーナーの展示の充実を図り、交流棟2階への回遊性を高めた。

また、川崎マリエンタワー棟10階展望室の液晶タッチパネル方式の案内板のメニューの一つ「川崎港トピックス」の更新を行った。

更に、川崎マリエンタワー棟10階展望室において、川崎港統計データを更新したパネルを制作・展示し、来館者が川崎港をより広く理解しながら、周囲の眺望を楽しむよう回遊性の向上を図った。

### (11) 夏休み川崎港見学会

夏休みを利用して、小学生とその保護者を対象に、港湾局の巡視船「あおぞら」による港内見学や貨物船内の見学を行い、川崎港の役割、重要性等の理解を深めた。見学会は2回実施し、延べ62人の参加を得た。

(前年度 3回 118人)

7月30日	14組	28人
8月6日	17組	34人

### (12) 川崎港魅力体験ツアー

一般市民を対象に、港湾局の巡視船「あおぞら」による港内見学や、港湾施設等を見学するとともに、夜間も活動を続ける川崎港と臨海部の工場群を海上から視察し、川崎港の役割を理解しながら川崎港の魅力を体験するツアーを区役所との共催で2回実施し、延べ69人の参加を得た。

(前年度 1回 39人)

- ・ 1月25日 宮前区役所と共催 参加者19人
- ・ 3月18日 幸区役所と共催 参加者50人

### (13) 港内案内事業

川崎市が一般市民、研究者、事業者、内外視察団等を対象に、港湾局の巡視船「あおぞら」を利用して海上から川崎港を案内する事業において、乗船者に川崎港の歴史、機能、役割、重要性等についての説明業務を当協会が受託し、31回、合計915人を案内した。

(前年度 40回 1,123人)

4月	—	—	8月	5回	224人	12月	2回	65人
5月	1回	30人	9月	4回	98人	1月	3回	62人
6月	1回	19人	10月	4回	77人	2月	2回	34人
7月	1回	48人	11月	7回	238人	3月	1回	20人

### (14) スポーツ教室及び大会の開催によるスポーツの振興

川崎マリエンの体育室（夜間バドミントン教室/春の部・秋の部）、テニスコート（夜間テニス教室/春の部・秋の部、昼テニススクール・大会）、ビーチコート（日帰り研修/ビーチバレーボール・ビーチテニス、ビーチバレーボール大会・ビーチテニス大会）、トレーニング室（トレーニング教室）を利用して、各種スポーツの競技人口の拡大と併せて施設の利用を促進するため、教室及び大会を開催した。

### (15) ニュースポーツ普及事業

神奈川県レクリエーション協会及びレクリエーション関係各社と連携して、川崎マリエン、東扇島中公園、東扇島東公園を利用するニュースポーツ普及のための講習会を4回開催するとともに、用具を川崎マリエンに備え付け、施設利用者に貸与した。

### (16) 川崎市港湾振興会館活性化事業（宿泊体験他）

川崎マリエンの特色を発揮し、市民が川崎マリエンに親しむ機会を創出することにより、施設の活性化並びに川崎港及び川崎マリエンの新たな魅力創出につなげるため、川崎区ボーイスカウトを対象とする宿泊体験研修を実施したほか、ビーチバレーボールとビーチテニスの日帰り体験会及び大会を実施した。



- ア 第1回ビーチバレーボール体験会
  - ・実施日 5月31日
  - ・参加者 13人
- イ 第2回ビーチバレーボール体験会
  - ・実施日 6月21日
  - ・参加者 29人
- ウ 第3回ビーチバレーボール体験会
  - ・実施日 8月2日
  - ・参加者 22人
- エ 第4回ビーチバレーボール体験会
  - ・実施日 9月6日
  - ・参加者 17人
- オ 第5回ビーチバレーボール体験会
  - ・実施日 11月3日
  - ・参加者 13人
- カ 第1回ビーチテニス体験会
  - ・実施日 11月7日
  - ・参加者 8人
- キ 第1回ビーチバレーボール大会
  - ・実施日 11月15日
  - ・参加者 50人
- ク 第1回ビーチテニス大会
  - ・実施日 11月29日
  - ・参加者 8人
- ケ 宿泊体験研修
  - ・実施日 7月24日・25日
  - ・参加者 子ども50人、大人20人

#### (17) 川崎マリエン茶道教室の開催

川崎マリエンの和室を利用して、伝統とおもてなしの心を体験する茶道教室を開催した。

- ・無料体験会 5月27日（参加者11人）
- ・6月10日より毎月第二・第四水曜日開催（全20回・参加者14人）

#### (18) 観光客の誘致

一般社団法人川崎市観光協会と連携するほか、一般財団法人夜景コンベンション・ビューローが主宰する「日本夜景遺産」に認定された川崎マリエン展望室等を観光名所として、国内外に情報発信し、観光客等の誘致を図った。

#### (19) 川崎港紹介資料の制作

市内小学校の社会科見学で来館する児童等の理解を促進するための副教材を作成し、配布を行った。

## (20) ワカメ祭りの開催

小学生とその保護者を対象に、川崎の海の環境保全の大切さを理解する機会を提供するため、環境保護団体と連携、協力して、川崎港内で養殖したワカメの見学会・川崎マリエン施設見学会及び収穫したワカメの観察・試食体験を行う収穫祭を開催した。(前年度参加者 30人)

- ・ 2月14日 養殖ワカメの見学会・マリエン施設見学会 参加者30人
- ・ 3月6日 収穫祭 参加者48人

## (21) リフレッシュの場の利用促進

川崎マリエンを起点に中公園及び中公園から続く緑道を活用して、川崎マリエン周辺リフレッシュ案内看板・距離標を設置したことにより、市民及び港湾関係者の施設利用に伴う利便性の確保、及び散歩やランニング、サイクリング等を安全に楽しめるよう、健康増進やリフレッシュの場として利用の促進に供した。

## (22) 野鳥の保護・観察

川崎マリエンに隣接する中公園等に野鳥が飛来し、又は営巣する環境を整備するために、現況調査や市民参加活動に関する仕様を整理し、取り組みを進めた。

## (23) スポーツ合宿の開催

2020年に向け、U23世代に対してオリンピックによるビーチバレーボールの指導とトップアスリートによる必要な要素を研修できる環境を提供し、次世代を担う選手を育成する。また、川崎マリエンの施設利用、スポーツ振興を通じて川崎港の振興に寄与した。

実施日：3月11日～13日

実施内容：ビーチコートでは実技、研修室・会議室は座学に利用

参加人数：男子5名 女子6名

## (24) 共催・後援等事業の実施

川崎マリエンのビーチコート、テニスコートなどのほか、東扇島の市民利用施設の周知、PR、利用促進を図るため、イメージアップ効果のある各種大会を誘致するとともに、各種団体が主催する事業を積極的に共催・後援した。

[共催・後援した主な大会等]

- ・ ジュニア育成事業テニス教室
- ・ 神奈川県テニス選手権大会
- ・ 川崎市実業団対抗テニストーナメント大会 (一部リーグ)
- ・ 神奈川ベテランミックステニス2015 (オープン)
- ・ 2015川崎ビーチバレー
- ・ 第27回全日本ビーチバレーボール大学男女選手権
- ・ ジャパンデフビーチバレーボールカップ2015
- ・ バイクナビ・グランプリ2015川崎マリエンデビューロ
- ・ 第8回川崎港トライアスロン in 東扇島兼

第2回川崎ジュニアトライアスロン大会

- ・ J B V 2 0 1 5 ビーチバレーボール川崎市長杯
- ・ U - 2 3 ビーチバレーボールトーナメント

## 2. 川崎市港湾振興会館の管理運営

川崎マリエンの指定管理者として、設置目的に従って体育室、会議室・研修室、展望室、テニスコート、ビーチコート、トレーニング室、駐車場等の市民利用施設・設備及び港湾事務室を適切に管理・運営するとともに、快適な環境及び魅力ある施設の運営により利用者の拡大を図った。

### ア 展望室の無料化の継続実施及び川崎マリエンの日本夜景遺産登録

平成21年度からの展望室無料化によって、多くの市民の憩いの場所として知られるようになった。さらに、平成26年7月に日本夜景遺産として登録され、より一層川崎マリエン及び川崎港のイメージアップに貢献することが期待されている。

### イ 会議室、研修室料金の減額の継続

会議室、研修室の利用促進を図るため引き続き半額料金を継続した。

### ウ テニスコート、ビーチコート、体育室の利用促進

テニスコートの人工芝の全面改良（第6コート）を実施し、利用の促進を図った。

ビーチコートは、防砂・防球ネットの補強工事を行い、競技者が利用しやすい環境を整えた。また、平成23年度から川崎マリエンが日本オリンピック委員会からバレーボール競技強化センターの継続認定を受けており、アスリートの強化施設としても使用される施設として知名度、魅力度の向上を図った。

### エ トレーニング室の使用頻度増加

アスリートや市民から要望の多い有酸素系トレーニングマシンを導入したことやトレーニング室の広報につとめた結果、多くの市民利用がなされた。

#### 平成27年度 川崎マリエン利用者数（前年度との比較）

平成27年度		平成26年度	
401,878人		402,179人	
・会議室・研修室	18,902人	・会議室・研修室	22,946人
・展望室	82,824人	・展望室	78,034人
・テニス	28,312人	・テニス	35,445人
・ビーチコート	24,803人	・ビーチコート	27,052人
・川崎みなと祭り	226,000人	・川崎みなと祭り	220,000人
・その他	21,037人	・その他	18,702人

### オ 「映像のまち川崎」への協力

ドラマ・報道・CM・映画・情報番組等、多岐にわたり映像メディア番組に使用された。

### カ 会館入居者連絡会議の開催

川崎マリエン入居者への情報の提供や意見交換の場として「会館入居者連絡会議」を開催した。

第1回：5月27日 第2回：9月25日 第3回：11月16日

第4回：12月24日

キ サービス向上委員会の開催

川崎マリエンの受託事業者（保守管理業務・受付業務・清掃業務）間でサービスの向上を図るため、毎月1回情報提供や意見交換を行った。

ク 川崎マリエン管理運営個別業務自己評価点検委員会の開催

受託事業者（保守管理業務・受付業務・清掃業務）の個別業務ごとに施設管理者が評価点検を行い、業務の適正化を推進した。

ケ 川崎マリエン利用者懇談会の開催

川崎マリエンの利用者及び川崎市民の意見を反映させ、当施設の設置目的の実現や活性化を図るため、川崎マリエン利用者懇談会を開催した。

第1回：7月23日

第2回：1月28日

コ 駐車場管理運営を専門業者に委託

川崎マリエン駐車場の管理運営を専門業者であるタイムズ24に委託し、効率的運用を図った。

サ 電気自動車急速充電器設置

東扇島で初の一般利用施設として設置し、環境に優しい電気自動車利用者の利便性の向上を図った。

シ 体育室及びトレーニング室の共通回数券

体育室及びトレーニング室の共通回数券を発行し、利便性の向上を図った。

### 3. ホームページによる情報提供事業

川崎港の振興宣伝及び当協会の事業、イベント等の周知を図るため、市民及び港湾・海事関係者並びに当協会の会員等にホームページで随時情報を提供した。

・ホームページアドレス

公益社団法人 川崎港振興協会 <http://www.kawasakiport.or.jp/kyokai/>

川崎マリエン <http://www.kawasakiport.or.jp/>

#### 【収益事業－1】

##### ——川崎市施設の管理運営に関する事業——

#### 1. 川崎市港湾振興会館収益施設の管理運営

川崎マリエンの指定管理者として、港湾事務所等の収益事業部分を川崎市港湾振興会館の設置目的に従って適切に管理・運営を行った。

#### 2. 東扇島中公園バーベキュー場管理運営

川崎マリエンに隣接する東扇島中公園内のバーベキュー施設等の管理運営を川崎市から受託し、施設維持管理、案内、用具点検等利用者の安全と快適性を確

保するため適切な管理運営を行った。

平成27年度利用区画数 延818区画（平成26年度 延780区画）

貸自転車 延1,034台（ ” 延1,027台）

### 3. 自動販売機の設置

川崎マリエン、東扇島中公園及び東扇島西公園に飲料水等の自動販売機を設置し、利用者の利便性の向上を図った。

・交流棟 1台 ・業務棟 2台 ・連絡通路 3台 ・展望室 1台  
・テニスコート 2台 ・中公園 1台 ・西公園 5台

## 【収益事業－2】

### ——川崎港関連物品等の頒布事業——

#### 1. 川崎マリエンオリジナルグッズの製作、販売

多くの市民及び事業者が川崎港及び川崎マリエンに親しんでいただくため、マリエンに展示しているサメの剥製「かわジロー」に因んだサメグッズの仕入を行い、また川崎港のシンボルキャラクター「川丸くん」グッズの新規作成・販売、日本夜景遺産認定を記念して製作した夜景遺産ポストカードの販売を川崎マリエン受付で行ったほか、ホームページ上からの通信販売も行った。

#### 2. 体育室等利用者のための消耗品の販売

体育室利用者向けにピンポン球、シャトルコック等、シャワー室利用者向けに洗面用品を販売し、利便性の向上を図った。

## 【共益事業】

### ——会員を対象にした研修会、講演会の開催及び機関誌の発刊——

#### 1. 会勢

(1) 会員 266社（入会4社、退会6社）

(2) 役員 19人

会長 1人

専務理事 1人

理事 14人

監事 2人

顧問 1人

(3) 職員 15人

事務局長（業務課長兼務） 1人

業務課	5人
ポートセールス推進課	1人
会館事業課	8人

## 2. 総会、理事会

### (1) 通常理事会

- ・開催日 5月26日
- ・場 所 川崎マリエン第1会議室
- ・議 題 ①平成26年度事業報告について  
②平成26年度決算報告及び監査報告について  
③役員を選任(案)について  
④平成27年度定時総会の開催(案)について  
⑤職務執行状況の報告について

### (2) 定時総会

- ・開催日 6月16日
- ・場 所 川崎日航ホテル12階東中
- ・議 題 ①平成26年度事業報告について  
②平成26年度決算報告及び監査報告について  
③役員を選任(案)について  
④平成27年度事業計画及び予算について

### (3) 通常理事会

- ・開催日 11月17日
- ・場 所 川崎マリエン第1会議室
- ・議 題 ①平成27年度上半期事業報告について  
②平成27年度中間決算報告について  
③会員の入会(案)について  
④規程類の制定他について(報告事項)  
⑤職務執行状況の報告について

### (4) 通常理事会

- ・開催日 2月12日
- ・場 所 川崎マリエン第1会議室
- ・議 題 ①平成28年度事業計画(案)について  
②平成28年度予算(案)について  
③資金調達及び設備投資の見込み(案)について  
④会員の入会(案)について  
⑤規程類の制定と改正について(報告事項)

## 3. 川崎港研修会

港湾関係行政機関から講師を招き、会員店社の新入社員を対象に、川崎港にお

ける港湾行政について講演するとともに、マリエンシアターにおいて川崎港に関する映像資料を鑑賞し、川崎港についての理解を深めた。

- ・開催日 7月16日
- ・場 所 川崎マリエン研修室
- ・参加者 39人
- ・演題1 「海上保安庁の業務の概要」  
講師 横浜海上保安部川崎海上保安署長 大江 昇 様
- ・演題2 「川崎港の概要」  
講師 川崎市港湾局港湾経営部経営企画課長  
鈴木 健一郎 様

#### 4. 川崎市港湾関係事業概要説明会

会員店社等が川崎港において事業展開する際の参考となるよう、川崎市港湾局から講師を招き、港湾振興事業、公共事業、将来計画、川崎港の港勢等について説明を行った。

- ・開催日 6月15日
- ・場 所 川崎マリエン研修室
- ・参加者 70人
- ・演 題 「平成27年度事業概要」
- ・講 師 川崎市港湾局港湾経営部担当部長（整備計画課長事務取扱）  
中井川 吉春 様

#### 5. 物流研修会

港湾をとりまく物流の変化に対応するため、今年度は港湾物流に高い見識をお持ちになる苦瀬博仁様に、過去に学ぶ物流の知恵、近年の物流の特徴、港のインフラ整備、産業振興、災害対策等について、御講演を頂いた。

- ・開催日 2月9日
- ・会 場 東海道かわさき宿交流館
- ・参加者 59人
- ・演 題 「これからの港と物流」
- ・講 師 流通経済大学流通情報学部教授 苦瀬 博仁 様

#### 6. 「港かわさき」の発刊

川崎港の現状、将来像、物流動向、イベント情報、港湾又は海に関わるエピソード等を掲載した機関誌を発刊し、会員に川崎港の最新情報を提供するとともに、市民が川崎港の役割、魅力等について理解を深める一助とした。

(1) 「港かわさき56号」

- ・発行日 8月4日
- ・発行部数 500部

- ・主な内容 物流研修会「最近のアジア物流動向と川崎港の動き」  
東海大学海洋学部教授 石原 伸志 様

「連載 私の川崎港」  
東京湾水先区水先人会 川崎事務所所長 内藤 誠一郎 様

「最近のポートセールスの動向について」  
川崎市港湾局港湾振興部誘致振興課  
担当係長 岩切 仁志 様

## (2) 「港かわさき57号」

- ・発行日 1月15日
- ・発行部数 500部
- ・主な内容 「ここだって川崎港！大川町緑地編」  
川崎市港湾局港湾振興部誘致振興課  
担当係長 岩切 仁志 様

「特集 派遣職員から見た川崎港」  
川崎市港湾局港湾振興部庶務課 所属  
(東京都港湾局港湾経営部振興課 派遣)  
担当係長 小倉 健一郎 様

横浜市港湾局港湾経営部港湾経営課 所属  
(川崎市港湾局港湾振興部経営企画課 派遣)  
担当係長 多田 旭幸 様

「連載 私の川崎港」  
東京湾水先区水先人会 川崎事務所所長 内藤 誠一郎 様

## 7. 各種行事への招待

当協会が協賛、後援等をする行事に会員を抽選により招待した。

### (1) ビーチバレーJBVツアー川崎市長杯

10月10日・11日 於 川崎マリエン・ビーチコート